

若者目線でプレゼン

岐聖大生が2社の課題解決へ



アイデアを提案する学生たち＝岐阜市中鵜、岐阜聖徳学園大岐阜キャンパス

キャリアデザイン授業

岐阜聖徳学園大は、経済情報学部のキャリアデザインの授業を岐阜市中鵜の岐阜キャンパスで行い、学生85人が岐阜、愛知県の企業2社を対象に課題解決のプレゼンを行った。

(三輪真大)

「大学祭への出店」など提案

企業の抱える課題の解決方法を考えることで、理解力や想像力を養うのが狙い。同大が県信用保証協会、岐阜信用金庫と結んだ提携を基にした授業。

2社は、食品製造のわさび屋(郡上市)、石井不動産(愛知県江南市)。学生たちは先月、両社から「若者への商品のPR」「中小企業の新規雇用の確保」というテーマの提示を受けた。6回の授業を経て、プレゼンに臨んだ。

学生たちはグループ別に発表。わさび屋の「若者への商品PR」というテーマに関し、学生たちは「音楽フェスへ出店」「大学祭へ出店」を提案。石井不動産の「新規雇用の確保」については「インターンの活用」「独自の採用向けスマホアプリの開発」を勧めた。